

# NEWS

## 病院ニュース

2012年1月  
第28号  
(年4回発行)

- 主な内容
- 1 「キッズ外科・手術体験セミナー」開催  
・病院長 新年挨拶
  - 2 新しい手術室がオープン  
・病院のロゴマークが新しくなりました  
・患者さんの声  
・千葉大学医学部附属病院 理念
  - 3 医療系3学部が亥鼻キャンパスに  
・[ミニニュース]イルミネーション点灯式、光のオブジェ制作、クリスマスコンサート開催、ボランティア感謝状贈呈式
  - 4 [フリートーク]検査部 臨床検査技師長 澤部 祐司  
・[トピックス]冷え性  
・[ちばをてくてく]④千葉市中央図書館



千葉大学医学部附属病院 〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1  
TEL 043-222-7171 (代表)

<http://www.ho.chiba-u.ac.jp/>

参加者・スタッフで記念写真

### 千葉大学 キッズ外科・手術体験セミナー

千葉県唯一!



# 「キッズ外科・手術体験セミナー」が今年も開催されました



参加された皆さんは真剣そのもの

実際の機器を使用して小学生が手術を体験

平成23年11月7日、宮崎勝病院長臓器制御外科学教授のもと、第2回目の「千葉大学キッズ外科・手術体験セミナー」が開催されました。

このセミナーは、最近志望者数が特に減少している外科医師の仕事について、児童に理解を深めてもらうために計画されたもので、平成22年11月に県内の医療機関としては初めて開催され、好評だったものです。今回は応募者総数141名から抽選で選ばれた千葉市内の小学校5・6年生20名(男子8名・女子12名)が参加しました。

手術室では、実際に使用する手術用ガウンと滅菌手袋に身を包み、无影灯(手術時に用いる、影ができない照明)の下で医師の説明を受けながら、超音波メスで鶏肉を切開する模擬手術を体験しました。また、人工皮膚を縫合して糸を結んだり、自動縫合器を用いて擬似腸管を切開縫合したりしました。さらに、近年急速に普及している内視鏡手術を、医師が実際に使用するシミュレーターを操作して体験しました。

参加した児童の皆さんは、緊張した面持ちながら目を輝かせ大変満足した様子でした。アンケートでは、「普通では体験できないことを楽しく学べた」、「こんな楽しい体験ならもっと多くの人が体験できると良い」などの貴重な感想をいただき、将来を担う子ども達にとつて意義深いセミナーになったのではないかと思います。

平成24年4月には第3回目のセミナーを開催する予定です。

(肝胆脾外科・助教 竹内男)

## 新年挨拶

千葉大学医学部附属病院長 宮崎 勝



平成24年、2012年の新たな年が始まりました。明けましておめでとうございます。

昨年は史上最大とも思われる大災害が日本を襲い、大変辛い一年間を過ごされた人も多かったかと思えます。本院職員においても震災の影響は極めて大きなものがありました。現地東北地区に比べれば皆が耐えて頑張らねばならない一年であったかと思えます。

本院の多くの職員の方々がこの過酷な状況の中、懸命に我々の役割である医療に災害時といえども怯むことなく従事してくれたことに深く感謝すると共に、この病院で患者さんのために働く医療人として、また病院長として大変嬉しくまた頼もしく感じられました。震災直後からの本院からの多くの医療人(事務の方々を含む)の方々が被災地の支援、あるいは復興に対して暖かな支援をして下さいました。国立大学病院長会議という本邦の国立大学病院長組織の会議において、全国国立大学が一致団結して被災地の医療支援に対して積極的なサポートを継続してきたことは、行政および政治を現在司っておられる方々並びにマスコミからも大変高い評価を得ています。何より多くの国民の方々からも深い理解と尊敬を得られる行動と自負しています。

我々はこの大災害から逆に多くのことを学ぶ機会を得たとも言えます。すなわち、昨年の言葉として第一位に選ばれた「絆」という言葉に表される人々の連帯感、およびその連帯感を持つて困って居る人々への応援の気持ちです。多くのボランティアが被災地へ駆けつけ、様々な地域での被災地への祈りなどがその現れです。自由資本主義経済全盛であった数年前に比べ、この絆で表される暖かな精神面の価値の重要性が見直されたと言っても良いかもしれません。折しもそのような時期、昨年後半からヨーロッパではギリシャを中心とした経済危機が表面化し、まさに資本主義自由経済の社会のあり方の行き詰まりが露呈されてきました。我々病院で医療に従事していく者にとつて医療本来のあり方からすれば、この社会の変化に何ら驚くに値せず、至極当然のように受け入れられる様に私は感じています。医療に携わる者として、昨年示された人々の絆は日頃我々が外来、病棟で患者さんに接して居る際に、持ち合わせた心根の本質であるかと思えます。

新たな年を迎えましたが、本年も我々千葉大学医学部附属病院で働く者として、プロの医療人として患者さんおよび仲間に対して、暖かなこの絆を持って良い医療を行っていきたく願っています。今年もどうぞよろしくお願いたします。

# 新しい手術室が オープンしました！



新しい手術室での手術の様子

## 千葉大学病院での 手術数は年々増加傾向

当院で行われる手術はハイリスクや難度の高い手術が多く、かつ多岐にわたっているのが特徴です。平成6年頃の年間手術件数は4000件に満たない数でありましたが、平成17年には年間5000件を、平成19年には6000



明るく、広々とした手術室

件を突破し、もうすぐ7000件を超える勢いで増え続けています。

## 最新の医療機器を導入

従来までの手術室数は11室で、もちろんフル稼働をしているにも関わらず手術の需要に十分に追いつかず、手術が必要な患者さんを長くお待たせさ

るを得ない状況が生じていました。このような状況を改善するため、平成23年11月21日に新しい手術室5室がオープンしました。年々高度化する最新の手術に対応でき、安全で効率的な運用のためのスペースにも配慮しています。外部に細菌を漏らさない特殊手術室(陰圧室)を増設し、感染症を持った患者さんの手術もより安全に行えるようになりました。手術に必要な医療機器も最新型を導入し、国立大学病院では初めてとなる高画質映像システムも設置されました。ロボット支援手術などの新しい技術を導入し、手技の向上にも努めています。

## 回復室や待合室も新しく

また、日帰り手術にも対応できるように、受付会計窓口や回復室、患者さんおよびご家族のための待合室をあわせて整備しました。このように千葉大学病院は、最新かつ安全な手術が提供できるように、日々進化を続けています。

(手術部 講師 長嶋 健)



最新の医療機器

## 患者さんの声

皆さまからこんな声が届きました。患者さんの声にお答えします。



### Q

正面玄関を出て左に行った駐輪場の前あたりが、日が落ちると真つ暗です。その先は障害のある方の駐車場なので困らないでしょうか？ またバスの通路も暗く、せめて20時頃までは屋根の下に電灯をつけてほしいです。毎日18時頃利用するので気になってます。

### A

早速現場を確認しました。駐輪場付近ですが、外来者用駐車場の照明が立木の陰となり、照明が十分に届かない状態でした。また、バス停までの通路には照明がなく、日没後は暗くなり、通行に支障を来すことがわかりました。早急な対策として、電源を必要としないソーラー式LEDライトを設置いたしました。この度は、貴重なご意見ありがとうございました。

## 病院のロゴマークが 新しくなりました



このロゴマークは、千葉大学医学部外科学の祖とされる三輪徳寛(1859~1933)が、医員や学生の教訓となるべく残した格言「獅胆鷹目行以女手」(したんようもくおこなうにじょしゅをもつてす)に由来します。「獅子のように細心にして大胆且つ動じない胆力、鷹のように諸事を見通し、判断、

解決できる眼力、女手のように臓器を柔らかく扱い緻密に行える手技」を意味するこの格言を目標に、多くの学生、医師が修練を積み、秀でた外科医となってきました。

獅子と鷹のデザインは格言をそのままに、手は女性の手と限定せず、両手で臓器を大事に扱い、緻密に手技を行える人間の手を表現しています。中心のハートは胆力、眼力、臓器を意味すると共に、患者中心の医療を実践できる利他、共感、責任感など医師として具有すべき心を意味します。医の三徳とされる「知、仁、勇」を「鷹、ハート、獅子」で表現し、本学が育成する医師像を示しています。

外枠のCHIBA MEDICINE(千葉医学)は、1874年に本学のルーツである共立病院が設置されて以来、135年以上に及ぶ伝統と達成した成果を包括する概念です。医学部、大学院、附属病院、関連の地域医療施設、更に千葉医学会、みのはな同窓会等が含まれます。

(総合医療教育研修センター長 田邊政裕)

## 患者さんへ

本院は、患者中心の質の高い医療を目指すとともに、次世代を担う優れた医療人を育成する医療機関であります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 本院の理念

人間の尊厳と先進医療の調和を目指し、臨床医学の発展と次世代を担う医療人の育成に努めます。

### 本院の基本方針

- 患者の意思を尊重した安心・安全な医療を提供します。
- 先進医療の開発と実践を目指します。
- 社会・地域医療へ貢献します。
- 人間性豊かな優れた医療人を育成します。

### 本院における患者の権利と義務

#### 【権利】

- 人権が尊重されます。
- 公平で良質、かつ安全な医療を受けることができます。
- プライバシーが保護されます。
- 診断・治療法等に関して、十分な情報提供と説明を受けたいという、自らの意思で決定できます。
- 臨床研究に関しては十分な説明を受けたうえで、研究に参加するか否かを自ら決定し、いつでも参加を中止することができます。

#### 【義務】

- 良質な医療を実現するため、自身の健康状態に関する正確な情報を提供してください。
- 良質な医療を受けるため、定められた諸規則を守ってください。
- 医療者の育成にご理解のうえ、積極的に医療に参加し協力してください。

平成16年5月17日 制定  
平成23年12月12日 一部改定

# 医療系3学部が亥鼻キャンパスに 薬学部が移転



医薬系総合研究棟(薬学部棟)

平成23年9月、千葉大学亥鼻キャンパス内に新たに医薬系総合研究棟が竣工しました。これに伴い、9月26日に西千葉キャンパスから亥鼻キャンパスへ薬学部が移転し、医学部、附属病院、看護学部、真菌医学研究センターと合わせ、千葉大学の医療系学部・大学院が集中した新しい学府が誕生しました。

医・薬・看がより密接になったことにより、本院においては各学部から多職種の卒前・卒後研修体制の充実を図ることが可能になるなど、学部間における教育連携の深化が期待され、次代を担う優れた医療人の育成に大きく寄与するものと考えられます。また、医薬研究・開発の効率化により、先端医療分野に



新しく舗装された3学部と病院をつなぐ連絡道路

おける新たな研究の契機も期待されます。

安心かつ安全な医療を提供し、地域医療を支えるという大学病院としての責務を果たすためにも、これからも千葉大学は学部教育から医療の現場まで一環した体制をより強固なものとし、医療の質向上に取り組んでまいります。

## mini news



### イルミネーション点灯式

12月5日にクリスマスイルミネーションの点灯式が開催され、病院長、看護部長の手によりライトアップがおこなわれました。会場となったヒュギエアの庭をはじめ、院内3ヶ所に幻想的な空間を作り出すだけでなく、今年はイルミネーションの全てを消費電力の少ないLED照明に変更し、節電にも心がけました。



### 光のオブジェ制作

患者さんと教育学部の学生が力をあわせ、新たなイルミネーションが作られました。「満たされること」「あったかさ」をテーマに作られた球体のオブジェには、患者さん一人ひとりの手により作られたランプシェードが取り付けられ、周囲は暖かな光で包まれました。



### 恒例のクリスマスコンサート開催

12月21日、1階待合ホールにおいて亥鼻キャンパスの学生を中心とした「千葉大学なのはな音楽部」によるクリスマスコンサートが開かれました。今年は「クリスマスキャロルメドレー」「サウンドオブミュージック」など、計6曲の演奏が披露され、会場にたくさん集まった患者さんやご家族のみなさんに素敵なメロディーをプレゼントしました。

## 看護師・助産師 募集

Heart, Skill & Responsibility

平成24年度新採用  
中途採用  
同時募集

心と技と責任。

その重さを知っている人。  
それが、千葉大学医学部附属病院の看護師です。

●資格：平成24年3月卒業見込みで、看護師・助産師免許取得見込みの方又はすでに免許を取得されている方

●待遇：当院規定により優遇します

●応募：電話連絡の上履歴書・看護師等の免許証(新卒の方は成績証明書)を郵送ください。なお、選考日については本院HPを参照してください。

●応募またはお問い合わせ先

TEL: 043-222-7171

総務課人事係(内線6020) 看護部事務室(内線6610)



千葉大学医学部附属病院

詳しくは看護部ホームページから

<http://www.chiba-kangobu.jp/>



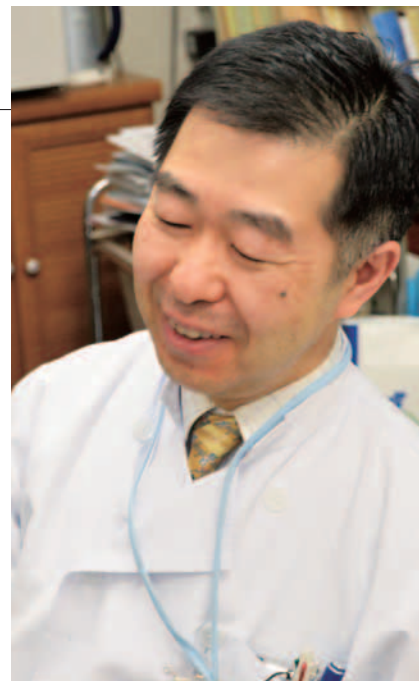
### ボランティア感謝状贈呈式

千葉大学病院では現在95名のボランティアの方々が活動しています。本院の医療を支える皆さんへの日頃からの感謝の意を込めて、10月19日にボランティア感謝状贈呈式が行われました。当日は授与対象者12名一人ひとりに病院長から感謝状と記念品が贈られました。贈呈式のあとは、本院におけるボランティア活動の紹介や講演会が行われ、その細やかな仕事ぶりをあらためて認識する機会となりました。ボランティアのみなさん、安心できる医療の提供にご尽力いただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

フリートーク

千葉大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長 澤部 祐司 (さわべ ゆうじ)

# 検査データの精度の向上と標準化をめざしています



## 生物学が好きで臨床検査技師に

人間の体から採取あるいは排出された血液、尿、痰、便、細胞などを「検体」といいます。それらの分析をしたり、心電図などで体の状態を調べることを「臨床検査」と言い、検査を行うのが「臨床検査技師」の仕事です。志したのは、子供の頃から生物学が好きだったから。日々、何百もの検体を測定しますが、「研究することが好きなのだ」と思います。入職当時、ある物質を測定するには、機械ではなく手で実施する「的手法」で手間と時間をかけて測定していましたが、自動分析装置を使って測定できないだろうかと考え、トライ&エラーを繰り返し、研究を続けました。結局、その方法は実用化までには至らなかったのですが、その時に学んだすべてが、研究の出発点であり、基礎となっています。

## 検査データの標準化

近年は、多くの検査で自動化が進んでいますが、最終的にはデータから異常を感知する「目」が必要になります。また、データの精度も重要です。たとえば、データを判断するための基準値が病院に

よって違っていたら、同じ検査を違う病院で受けると、違う結果が出るということが起こってしまいます。検査データが標準化されていけば、病院を変えても、前病院で検査したデータをそのまま診療に使うことができます。そこで千葉大学病院では、全国的にも中心施設となって検査データの精度向上と標準化に取り組んでいます。

## 近未来の臨床検査

検査は万能ではなく、病気があっても見つけられなかったり、異常値が出てても病気がない場合もあります。しかし、病気の早期発見が可能になることは、病気や不調に気づかない方には大きな利点です。

近年の検査システムの進歩で、以前なら数日かかっていた検査が、現在では短時間で正確に出すことが可能となったため、必要な場合にはまず最初に検査をお願いし、診察前に結果を出すことも可能になりました。そうすることで、最新のデータ結果を元に、より精度の高い治療が可能になってくるのです。

近い未来には、検査システムがさらに進み、自動販売機を使うように、気軽に検査ができるような社会になるかもしれません。それまではまだ長い時間がかかると思いますが、検査の重要性をご理解いただき、検査にご協力いただければうれいですね。

### Profile

澤部 祐司 (さわべ ゆうじ)

北海道出身。昭和55年、千葉大学医学部附属病院に臨床検査技師として入職。生化学・免疫検査を担当する。平成16年より臨床検査技師長。趣味は旅行。健康維持のため、iPodで落語を聞きながら最寄り駅まで30分ほどのウォーキングをしたり、自宅近くの公園でローラースケートを練習することも。

## ちばをてくてく

千葉市中央図書館 4

### 眺めのいい図書館で絵本を読もう

図書館を利用したことはありますか？ 最近行ってないなあ、という方は、ぜひ一度「千葉市中央図書館」を訪ねてみてください。この図書館は、千葉市生涯学習センターとの複合施設として2001年4月に開館しました。千葉公園近くに、モダンな建物がどっかりと構えています。大きな窓からは、どこを歩いても、本やCDなどが、手に取りやすく並べられていて、堅苦しい図書館のイメージはどこにもありません。

おすすめは絵本のコーナー。絵本は子供のためのものではありません。子供の心を忘れたくない大人も、たいせつな読者。国内絵本をはじめ、海外の絵本などがディスプレイされているので、椅子に腰かけて、子供の頃に読んだ懐かしい絵本を読んでみましょう。きっと、あたたかな気持ちが甦ってくるはずですよ。

図書館では、毎週土曜日「定例おはなし会」、毎月第2金曜日に「わらべうたと絵本の会」を開催。本や絵本、CDなどの資料は、どなたでも借りることができます。



千葉市中央図書館児童コーナー

©千葉市中央図書館  
千葉市中央区弁天3-7-7  
043-287-3980  
<http://www.library.city.chiba.jp/>



## トピックス

### 生薬で体をあたためよう

## 冷え性

最近めっきり寒くなり、冷えてつらいと感じていらっしゃる方も多いかと思えます。冬には気温の低下により冷える方が増えますが、現代社会は季節に関係なく冷え症になりやすい社会なのです。なぜなら、冷蔵庫から冷たい飲み物を取り出しすぐに飲めたり、スーパードレスでも、体を冷やす夏野菜や果物を簡単に手に入れたりすることができず、また、交通の発達により運動不足にもなりがちです。このような生活習慣により一年中冷える感じている方もいますので、冷え症の方は生活習慣をなるべく改善する必要があります。

冷え症には漢方薬も有効です。漢方薬に使用されている生薬の中には体を温める作用のあるものが沢山あります。最も有名な生薬は生姜（しょうが）です。生姜は冷えを改善させるだけでなく、消化機能を高める作用もあります。また、鰻にかける山椒も生薬の一つですが、これには体を温める作用と腹痛を改善する作用があります。冷え症の方には普段の食事でも生姜・山椒を積極的にとるようおすすめしています。冷え症は、漢方医学では重視する病態の一つで、その治療も可能です。寒くなる体調が悪くなるような場合には、漢方治療の適応も合いません。気になる方は是非和漢診療科を受診してみてください。

(和漢診療科・特任助教 地野充時)

### あとがき

昨年の大震災により注目された“絆”、一年の世相を表す恒例の「今年(平成23年)の漢字」にも選ばれましたが、広辞苑で調べてみると、「馬・犬・鷹など動物をつなぎとめる綱、転じて、断つにしのびない恩愛。離れがたい情実」とあります。医療における

“絆”とはなんであるのか、今一度、患者と医療者との結びつきを見直して医療現場に従事しようと思う日々です。

(編集委員 呼吸器外科 吉田成利)